

(別紙5)

補助事業番号 28-1-083

補助事業名 平成28年度 親と子のふれあい交流活動補助事業の競輪補助事業

補助事業者名 公益社団法人 国際演劇協会日本センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

朗読劇として評価が高い『この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ』を若い世代のひとたちに観てもらい機会を広げ、2～3世代の親子、家族がこの作品と一緒に観ることで、戦争と平和について語り合うきっかけを提供することを目指す。また、「ヒロシマ」「ナガサキ」は、諸外国でも学校で習う内容であり、英語イヤホンガイドの無料提供や英語台本の利用などで、国際的な対話も促進する。さらに、初演から31年を迎えてなお、遺族の方々との連携を保ちつつ上演を続ける本作の存在を広く報せることで、ユネスコ傘下の団体として、「演劇を通じた相互理解の促進による平和の構築」というユネスコ憲章の理念の実現を目指したい。

(2) 実施内容

朗読劇『この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ』の上演

8月12日(金) 搬入、仕込み



(別紙5)



明かり合わせ (照明)



短歌・俳句朗読の高校生指導



ゲネプロ (通し稽古) 前のミーティング
俳優とスタッフが全員集合

(別紙5)

8月13日 マチネ (13時開演の回)



ポスターを劇場入口に設置



受付時の様子



ロビーの様子
(ロビーにも JKA ポスターを設置)



俳句・短歌朗読の高校生たちと先生



マチネの出演者たち



南アフリカ大使館からのゲスト



アイルランド大使館からのゲスト

*英語イヤホンガイドの利用により、
日本語話者以外の観客にも観ていただいています。

(別紙5)

8月13日 ソワレ (17時開演の回)



ソワレの出演者たち



受付時の様子

対談



第三者からの評価として湯川れい子氏(音楽評論・作詞家)と堂園涼子氏(インターナショナル・メディカル・クロッシング・オフィス院長)による対談を行い、記録をとった。

進行：永井多恵子

編集：中島香菜

撮影：山田泰士

(別紙5)

8月14日 マチネ (14時の回)



短歌・俳句朗読の高校生指導



ロビーの様子



受付時の様子



出演者たち



バラシ (撤去作業)



搬出作業



搬出



搬出

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 国際演劇協会日本センター

(コクサイエンゲキキョウカイ ニホンセンター)

住 所： 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 国立能楽堂内

代 表 者： 会長 永井多恵子 (ナガイタエコ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 常務理事・事務局長 曾田修司 (ソタシュウジ)

電 話 番 号： 03-3478-2189

F A X： 03-3478-7218

E - m a i l： mail@iti-j.org

U R L： <http://iti-japan.or.jp/>